



## ごあいさつ

今年の暑さは異常のようですね。熱中症で亡くなった人も多く、体調管理に気を遣っておられる方も少なくないでしょう。この夏の反動(疲れや体調不良)が秋にドッと出てこないことを願いつつ、ムリをしないで涼しくなるのをひたすら待つしかありませんね。

シズポート株式会社 代表取締役 米田 明

## 連載企画 “一丁燗” が行く！ 第32回：大文字

今年も無事に大文字が終わり夏のピークを越えたことを実感しました。



ところでこの大文字、正式には「大文字五山の送り火」といいます。

インターネットの百科事典「ウィキペディア」にこんな記述がありました。

『京都では宗教行事からのいわれで「大文字五山送り火」というのが正式である(京都市観光協会などのHPによる)。一般的に、代々の京都在住者・出身者は「送り火」という表現を使うし、あるいは単に「大文字」「大文字さん」と言うが、マスコミを含め「大文字焼き」と誤って表現されることがしばしばある。これは、奈良高円山など他所で行われる大文字焼きと混同されたものと思われる。京都の人々は「大文字焼き」という表現を嫌悪するのが通常である。これについては、織田信長の比叡山の焼き討ちを連想させるからであるという説もある。…』と。

織田信長はともかくとして、生粋の京都人である私は昔から「大文字焼き」といわれることに違和感を覚え、そう言われる度に「たご焼きやお好み焼きとちゃう！」と猛反発しています(笑)

ところで、お盆とはいつのことかご存じですか？ 皆さんの会社では今年のお盆休みはいつまででした？ 当社では“大文字五山の送り火”が終わるまでお盆だと解して16日までお休みさせていただきました。しかし16日が月曜日だったことから京都以外では夏休みは15日(日)までで16日から仕事されていた会社が多かったようです。

それで、そもそもお盆とはいつまでなのか？ との疑問を覚えて調べてみました。旧暦や新暦などチョットややこしいところもありますが、新暦では8月15日が盆で、その翌日にお盆に帰ってきた死者の魂を現世からふたたびあの世へと送り出す送り火が焚かれるようになったということのようです。『盆の16日は地獄の釜も休む』と亡くなったおばあちゃんがよく言っていました、16日はお盆ではなかったんですね。知らなかったのは私だけ？ (>\_<)、

## 特集

# パソコンのDIY (その1)

今回はパソコンの自作というちょっとマニアックな話題についてお話ししましょう。パソコンの自作は、ごく一部のマニアの中で1970年代からありましたが、1990年代に一般の消費者でも比較的容易にできるようになり、2000年代には成熟しました。そもそも、パソコンを自作するというにまずどんなメリットやデメリットがあるのでしょうか。

### ★長所

- ・OSとのしごらみが強くないので好きなOSをインストールすることができる
- ・自分が納得できるスペックで作れる
- ・不要なアプリケーションが入っていない
- ・ケース(筐体)の選択肢が多く、派手なものを選ぶのも自由
- ・パーツ単位での交換が容易
- ・なんといっても少し詳しくなれる

### ★短所

- ・パーツ単位のメーカー保証などはあるが、パソコン本体にはない。しかもパーツメーカーのほとんどが海外で、日本国内でのサポートは期待が薄い
- ・OSは付属していないし、ましてやMS-officeなども当然付属していない
- ・結果として意外と安くなく、同等のスペックならメーカー製やショップブランドの方が安いことが多い
- ・処分の際、回収してもらえないメーカーが存在しないので、自費で処分しなければならない

上記の長短を見ても、デメリットが多いように思われます。特にOSはメーカー製PCにプリインストールされているOSより、パッケージで購入する方がはるかに割高(windows7 Professionalの標準価格は4万円ほど)になりますので、これが大きな原因で自作ブームは縮小しているというのが現状です。



【パーツのパッケージ】

しかし、そんな逆風をものともせず、挑戦するところに自作の楽しみがあります。

パソコンを自作するのに最低限必要なパーツは以下です(構成によっては必要でないものもあります)  
CPU/マザーボード/メモリ/ビデオカード/ハードディスク/光学ドライブ/  
PCケース/電源/OS/ディスプレイ/キーボード/マウス

パーツ選びでは、各パーツの規格を決定しなければなりません。この規格が多すぎて手を出すのが面倒になる方もいらっしゃるかも知れません。しかし実際は、CPUと電源の方式さえ決めてしまえば後は自動的に範囲が絞られます。

実際にパーツの選択肢を絞り込むとき、私の場合は「価格.com」のサイトを利用しています。各パーツごとにカテゴライズされていて、規格や仕様などの条件で絞り込むことができるうえ、通販の最安値が把握できます。更に口コミ掲示板もあり、非常に参考になります。(あくまで口コミなので鵜呑みは無用ですが…)

ということで、では次回、実際にパーツを選んでみたいと思います。

# 読者訪問

第8回



## 訪問先

会社名：大成印刷紙業株式会社  
 業務内容：印刷デザイン・販促企画、各種紙製品・ポリセロ加工販売  
 住所：〒607-8355  
 京都市山科区西野大鳥井町 100-197  
 面談者：代表取締役 大坂 歩 さん  
 TEL：075-581-8502 FAX：075-591-0267  
 URL：http://taisei.jimdo.com/

今月は大成印刷紙業株式会社さんをお尋ねしました。大坂社長はQ-infoの熱心なファンだと勝手に解釈しての訪問です。というのは、毎回リプライシートのご返信をいただき、**「これだけ熱心な読者取材しないわけにはいかない」**というのが本音で突撃訪問させていただきました。



大成印刷さんは印刷業とは言うものの大坂社長曰く『印刷設備を持たない印刷屋』だそうで、印刷すべきものの企画やデザインなど物理的な印刷工程に入る前の課程の企画や制作の業務をなさっておられます。以前は菓子メーカーや酒造メーカーの商品パッケージの印刷・制作が主たる業務だったのですが、最近では“街の商店さんの広告代理店”を目指しており、それぞれのお店の規模や予算、ニーズに合わせた広告媒体の相談から企画～制作～印刷を一手に引き受けられておられます。それ故に印刷媒体の範囲も広く、チラシやパンフレットはもとより、お店が発行される機関誌や新聞とかダイレクトメールまで、そしてそれらと連動したHPの構築まで手掛けておられます。



パソコンの普及、インターネット等情報伝達手段の多様化などにより、紙媒体の印刷業界は厳しい状況に置かれていますが、地域からあてにされる総合企画・販促支援業として活路を見出しておられます。

Q-infoの熱心な読者という思い込みで訪問した記者は恐る恐る聞いてみました。「毎月Q-infoは読んでいただいているのですか？」とすると『ええ、もちろん、毎月楽しみに読ませていただいています』と嬉しいお答え。(^^)

そして「Q-infoは参考になっていますか？」との問いに対しては『ずいぶん参考にさせてもらっています。「これくらいのことはわかって当然やろ！」というような高飛車な態度で書いてあるIT関係の雑誌は突き放し感が否めないのですが、Q-infoはコンピュータに詳しくない素人にもわかりやすい言葉で書いてあるし親しみを覚えています。そして何より嬉しいのは、いろいろな知らない言葉(キーワード)を知ることが出来、ボキャブラリーが増えるのが楽しみなんです』とおっしゃって下さいました。

シスポートのユーザーさんはパソコンに詳しい専門要員がいらっしゃる小規模な企業が多く、そしてまたITに苦手な方々も多くいらっしゃるの、普段から横文字を中心とした難しい言葉は極力使わないように努めていることが誌面にも表れているのかも知れません。

大坂社長がおっしゃる“街の商店さんの広告代理店”と同じように、私たちシスポートも“街の小さな会社のIT屋さん”を目指していかなければという思いを新たに帰路につきました。

# Excel ワンポイント講座



## 数式は残して数値だけ消す方法

画面①のような表があります。B,C,E,G列には数値が、D,F,H列には数式が入っています。いま、この表全体を範囲指定して消去すると埋め込まれた数式も消えてしまいます。埋め込まれた数式は消さずに、数値だけ消したい場合の方法をご紹介します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		A	B	C=A+B	D	E=C+D	F	G=C*D+F
3		1	2	3	5	8	10	25

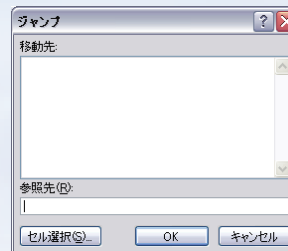
画面①

まず、対象となる表全体を選択します。(画面②)

	A	B	C	D	E	F	G	H
		A	B	C=A+B	D	E=C+D	F	G=C*D+F
		1	2	3	5	8	10	25

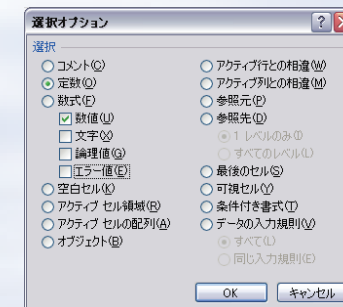
画面②

次に、編集→ジャンプ(2007の場合は、ホーム→検索と選択→ジャンプ)を開き、「セル選択」をクリックします。(画面③)



画面③

選択オプション画面(画面④)で「定数」と「数値」にのみチェックを入れ、OKをクリックすると該当するセル(消したい数値のセル)だけが選択されますのでDELキーを押してこれらのセルのみを消すことができます。



画面④

# シスポート TOPICS

- 9月度「SBCセミナー」(共催：尙中小企業診断所)  
 会場：キャンパスプラザ京都 第2演習室  
 テーマ：自社の経営環境を見直してみませんか？  
 講師：米田 明 (有限会社中小企業診断所 代表取締役)

無料

9月21日(火)  
 14:30 ~ 17:00頃

発行 [Sys-port] シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16  
 TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130  
 e-mail info@sysport.co.jp  
 HomePage http://www.sysport.co.jp

